

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		佐世保市子ども発達センター にこにこルーム			公表日		令和7年1月17日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0		・今のところ、定員でいっぱいになることはないので、不都合はないが、人数が多いと広くは使えない。		
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0		・利用者が多い時は、検討する必要がある。 ・参加人数に応じて、スタッフの人数を調整してはいるものの、課題はある。		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、設備等は障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	・情報量を整理し、子ども達にとってわかりやすいように工夫している。 ・パーテーションなどで活動場所と着脱の場所など、空間を仕切っている。重症心身障害児の方でも参加しやすい環境を整え、資格支援や情報量の整理などに心がけている。			
	4	生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・いつもきれいな環境に整えている。 ・衛生管理に努めている。(玩具、室内消毒、洗濯等)			
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	3	・別室はないが、部屋の隅で見学できるようにしている。	・パーテーションや段ボールハウスの活用など、工夫が必要。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	・職員全員で話す機会を設けている。年に2回カンファレンス、月に6回ミーティングを行っている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・グループ終了後には必ずミーティング(振り返り)を行い、その日の活動や利用児一人ひとりのことについて話し合っている。各グループごとには月2回のミーティングを行っている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4	・現在、第三者評価は行っていない。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・積極的に受講するようにしている。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0				
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	1	・細かく目標を設定し、保護者・支援者ともに共有しやすい内容になるよう心がけている。 ・使用開始前のアセスメントやモニタリングに協力してもらっている。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・担当している全てのスタッフで検討している。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0				
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	・毎回の個別記録や会議録等で把握している。			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・毎回、様々な工夫、子どもが楽しめる内容になるよう努めている。			

	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	2	・個別活動は行っていない。子どもに合った対応をするよう、心がけている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	・その日の活動内容をホワイトボードにも詳細に書くようにし、スムーズな活動進行に努めている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	・細かい部分まで記録するようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者と会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1		・相談支援事業所を主とした担当者、支援会議等において、就園しているお子さんは就園先の園の先生、また、児童発達支援の関係者は必ず参加されているのか。個別と小集団、大集団での子どもの状況は、同じ子どもであっても異なることが多い。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1		・子どもをよく知っている関係者がしっかり集い、支援の方向性を検討していくことは、インクルージョンの観点からみても必要。
	27	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	2	・児童発達支援センター等連絡会に参加している。	・今後、連携を図るためにも児童発達支援センターの機能を生かし、活動内容や連携のあり方について、助言・スーパーバイズを受けてはどうか。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	3	・併設されている、子育て支援センター（広場）との交流の機会を設けている。	
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	1		
	30	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	・育児講座（ばいなっぶる会）を開催している。	・育児講座（ばいなっぶる会）の参加者がもっと増えるといいと思う。申し込み方法の検討があってもいいかと思う。
保護者への説明等	31	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	32	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	33	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0		
	34	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	1		
	35	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	1		・親子遠足など、機会は作るようにしているが、実際は難しい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	37	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・毎月のお便りや育児講座の案内など、わかりやすく見やすい工夫をしている。	・SNSの使用は難しい。ホームページの活用もうまくできていない。
	38	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	40	にこにこルームの行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3		

非常時等の対応	41	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	42	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0		
	45	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	46	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	2		
	47	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1	・エレベーター前に足跡マークを貼るなど（扉が開くまで近づかないよう、待つ場所を視覚的に伝える。）、ヒヤリハットの事案に対して迅速に対応策を検討し、実施するようにしている。	
	48	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	1		
	49	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	2		